

博物館の魅力向上タウンミーティングについて

1 概要

(1) 当日

区分	内容
日時	令和4年8月7日（日） 午後2時から午後3時50分まで
場所	名古屋市博物館講堂
出席者	博物館館長 三芳研二 副館長 木村広聖 総務課長 根木剛 学芸課長 瀬川貴文 主幹 竹川修
コーディネーター	一般社団法人地域問題研究所 加藤栄司氏
参加者	34名
プログラム	1 はじめに 2 博物館長あいさつ 3 事業概要説明 4 博物館の魅力向上についてのご意見及び質疑応答 ・本館について ・前庭、ワークショップ棟について ・東館、東側敷地について 5 終わりに

(2) アンケート

区分	内容
回収枚数	17枚（当日15枚、後日2枚）
年齢	19歳以下 0人 60歳代 3人 20歳代 0人 70歳代 5人 30歳代 2人 80歳以上 0人 40歳代 3人 不明 2人 50歳代 2人
住所	瑞穂区内 7人 名古屋市内（瑞穂区以外） 8人 市外 0人 不明 2人

2 質疑の概要（アンケートの内容も含む）

（1）本館について

番号	質問・要望	回答
1	40 年前に市博が出来る時に民族資料（例：ニューギニアなどの）が入るといことで「市博物館」の命名が当初は「自然科学博物館」となりそうであったが、ギャラリーの使用率も高まり今の名称になって私的に良かったと思う。	今後ともより一層皆様にご利用していただける博物館を目指します。今後も、諸外国の文化、歴史を伝える展示は特別展等を中心に行っていく予定です。
2	市内の病院の例だが、収入増加のためにはレストランの位置が重要と言われている。	最終的に東館にカフェを設置する予定です。
3	新しい博物館ではワークショップを兼ねた部屋がガラス張りでみなさんに見えるようにしている例がある。	新たにできるワークショップ棟についても、より多くの方に利用していただけるようにしてまいります。
4	手話通訳者の手話が幼稚すぎる。今回のイベントだけではなく常時解説も手話で利用できると嬉しいです。誤解が多いのですが手話は日本語と異なる言語です。ぜひご検討いただけたらと思います。	聴覚障害のある方を始め、その他の障害のある方も楽しんでいただけるようなバリアフリー化を進めてまいります。
5	バリアフリー化をおねがいしたい。	様々な障害のある方や高齢者の方、妊婦の方、お子様連れの方にも楽しんでいただけるようなバリアフリー化を進めてまいります。
6	展示ケースの高さについて車いすの方が見やすい配慮はもちろんです。私がこれまで絶妙な高さだなと感じたのが高浜市かわら美術館です。瓦という小物の展示品がとても見やすい高さになっています。	多くの方に見やすい展示ケースを検討してまいります。
7	学芸員の勉強をしています。日本の学芸員は仕事が多く、自分のやりたかったものがなかなかできないというお話をよく聞きます。ワークショップ棟が開館されることで、さらに学芸員の方々の仕事が増えてしまうのではないかと、心配になりました。	新しい博物館の運営にあたっては、学芸員以外職員や業務委託スタッフを含め、総合的に検討してまいります。

8	学芸員が研究するスペースを拡張し、研究を深めてほしい。	新築ではなく改修ですので、現状程度となる予定です。今後も研究を深め、皆様に成果をお伝え出来るように努力いたします。
9	ゾーニングについて ①地下の収蔵庫を2階以上に(東館の収蔵庫の拡大) ②内部に吹き抜け空間をつくり、メインの展示物を入れる。 ③時事展示室はやめ、常設展示のフロアに	①収蔵庫については東館に新たに設けることにより今後約20年の収蔵品の増加に対応できる予定です。収蔵庫の配置は、改修であるため大幅な変更は困難です。 ②構造的に弱くなってしまうため、吹き抜けを作ることは困難と判断しました。 ③時事展示室はこれからの博物館に必要な機能だと考えております。
10	展示室の天井高の最も高い部分は何くらいか。	5メートルくらい(特別展示室)の予定です。
11	時事展示室について 民間事業者は採算がとれなければいつでも撤退する。現博物館の利便性からして他のいい会場ができればいつでも移る。イタリア村の例からしてもこの企画は不安である。	時事展示室はこれからの博物館に必要な機能だと考えております。持続可能な運営方法を検討してまいります。
12	時事展示室とギャラリーの違いは何か。	ギャラリーにつきましては、個人や団体の方々に自主活動として使っていただき、絵画、書道、彫刻などを展示していただくためのものです。 時事展示室につきましては、映画、アニメ、漫画など現代的なものについての展示を想定して、時事展示室という名称にしております。実施主体も企業や民間の方に企画していただき、広く一般の方が来ていただける展覧会を想定しております。 特別展示室につきましては、資料や研究に基づいて歴史・文化を紹介していくことを想定しています。 このように、展示室及びギャラリーを構成していきたいと考えております。

13	今回基本計画を策定する際に、現行建物は建物診断士とかに調査依頼し、あと何年ぐらい持ちそうかということは調査したのか。	今回基本計画を策定する際に、コンクリートの強度を中心に調査し、築 80 年程度持つという結果が出ております。
14	空調機器などの省エネ化、ウイルス対策などはどのように考えているか。	設備的な老朽化もございますので、空調や水回りなども基本的に今回のリニューアルで更新をしていく予定です。省エネ化等についても配慮して更新していく予定です。ウイルス対策についても検討してまいります。
15	壁床の石材について ネームプレートと紹介文をつけてほしい。はずしてしまう石材は産地・種類などをつけて学校教材にできると思う。めずらしい高級岩石なので、理科授業に使える。科学館に展示してもよい。せっかく名古屋石めぐり本も、博物館で売っているから、活用できる。	博物館には特徴的な壁や、床材に大理石が使われている箇所があります。一部改修をする際に撤去しなければならないところもございますが、再利用が可能か検討してまいります。
16	BEMS(ベムス)の導入について 空調の交換をするにあたって、ビル・エネルギー管理システムを検討中と思いますが、北九州市の「いのちのたび博物館」は外資を利用しています。国産で優秀なシステムがあったら採用して欲しいです。	空調機器については、設計にあたり検討してまいります。
17	照度の問題について 貴重な文化財は照度を落とし展示することは承知しています。ところが歳をとるとこれがものすごくつらいのです。文化財の屏風が見られると嬉々として行ってもほとんど暗くて肝心な中身がみられないものです。博物館を安く早く作るには 既存の博物館仕様の照明をポンと持ってくるのが一番でしょうが、照明メーカーでどこか積極的に研究しているところがあれば、老人にも見やすく、文化	照度については、設計にあたり検討してまいります。

	<p>財も保存できる照明を採用して欲しいです。ダメだった場合は、見せたい部分の拡大を印刷したパネルを事前に用意したいです。と同時に、デザイン事務所はとかく映像を使った設備にしたがるのですが、そうすると全体が暗くなります。これも年寄りには厳しいです。福岡市の博物館、九博もそうですが、展示品に高級感を出すために暗くし、金印などを大きさにアピールします。この暗いのは 若い頃はなんとも感じなかったのですが気分が下がります。明るい室内だと気分も明るくなります。</p>	
18	<p>収蔵品の多くを占める民俗関係についてどのように考えるか。</p>	<p>民俗資料が収蔵庫の多くを占めていますが、民俗資料を収蔵していることも当館の特色であり、大切に使いながら展示をしたいと考えております。新しい常設展の中でも、近現代や歳時記などで民俗資料を紹介していきたいと考えています。</p> <p>小学校 3 年生の社会科との連携事業「名古屋のうつりかわり」はリニューアル後も実施し、民俗資料を積極的に活用する予定です。</p>
19	<p>収蔵品を死蔵品としないために、どのように計画的に活用するのか。また、博物館が持っているものを博物館だけで抱え込むのではなく、地域での活用ということも考えながら、博物館が地域に根付くような形での外へ出るような展示や、地域でできるように援助をすることを考えているか。</p>	<p>盗難や劣化の恐れとのバランスを考慮しながら今後検討する必要もあると考えています。また、死蔵品とならないように、データベースでいろいろな資料の情報を発信していく予定です。</p> <p>博物館資料を文化資源とした地域連携のイベントも検討していく予定です。展示以外に資料の魅力を伝える活動も検討していきます。</p>

20	目玉の資料は何か。	博物館資料は多種多様でございますが、一例として、近年、重要文化財「豊臣家文書」を収集しましたので、リニューアルの中でこの資料の魅力も伝えていきたいと考えております。今後も資料の収集を行いながら、様々な資料の魅力をアピールしてまいります。
21	ICT はどのように活用していくのか。	資料のデータベースを整備して公開していく予定です。 また、展示等においても、児童生徒がタブレット端末を利用して学習したり、展示解説などを効果的に提供したりできるよう考えていきます。
22	考古学(土器等)バックヤードの一部は小中学生などが見学可能な棚のつくりにしてほしい。全部でなく、土器類の収蔵庫の一部の棚があらかじめ見学できる配置にしておく。これは改修時でないといけない。	バックヤードの一部を見学可能とするかは動線とセキュリティの問題などあり、現状の建物では難しい状況です。
23	<p>大型展示は不要</p> <p>さまざまな博物館でロビーなどに大型展示があります。初めて行くとインパクトがあって感動します。しかし、何度も行く場所には必要ないと思います。名古屋の山車はからくりが載った特徴的なものですが、からくりの乗らない長浜や垂井の山車に比べたら見劣りします。半田市博物館に同様な山車展示がありますが1回見れば十分です。祭りはその場の臨場感が大事だからです。大型展示は自己満足で古い感じがします。映像で充分だと思います。また、ジオラマや蠟人形もすぐ飽きてしまいます。</p> <p>山車に限らず展示品は、3～5年もすると陳腐化する運命にあります。ですから 展示品の入れ替えがしやすいレイアウトや構造にすべきだと思います。大型な展示物はアーカイブ資料</p>	<p>大型展示から得られる臨場感、感動も大事と考えております。そうしたことを活かしながら、陳腐化しない持続可能な展示を目指してまいります。</p> <p>山車については、名古屋の歳時記の中で紹介する資料として活用してまいります。もちろん山車に特化するのではなく、名古屋の一年を紹介する年中行事を柔軟に展示替えを行うことで紹介できるよう努めてまいります。</p>

	としてデジタル化し、視聴可能な部屋で観られるようにすべきです。	
24	リニューアル後の常設展示では高度経済成長期など現代の人々のくらしの様子もわかるような展示を充実してほしい。	新しい常設展示では、写真資料やくらし、職業にかかわる道具などを活用して、現代の人々のくらしの様子がわかる展示も行う予定です。
25	<p>展示場について（展示内容企画の提案）①常設にて昭和の思い出横丁（当時のくらしやたたずまいの実物保存、建物や備品、道具を展示、昔のまつり風景や子供の遊びなどを再現する）</p> <p>②尾張の武将や有名人の特集として「信長デー」「秀吉デー」「豊田佐吉デー」など企画して、おもてなし武将隊や、有名人のゆかりの人を呼び、歴史をたどると共に偉業をたたえる。</p>	<p>新しい常設展示では、名古屋の歴史を形作ってきた様々な人々の営みに光を当てることで、来館者が歴史を身近に感じ、自らもまた歴史をつくっていくひとりであることに気づく展示を目指しています。その中で、歳時記展示や昭和のくらしの道具などの展示も検討しております。</p> <p>尾張の武将や著名人についても、みなさまに関心を持っていただける展示を検討しております。</p>
26	<p>「庄内川絵図」が中志段味の旧家から見つかり、貴博物館に今は寄贈されていると聞きます。「志段味の自然と歴史に親しむ会」で現代語に読める形で本にしましたが貴博物館では活用がされていないように思います。昨今の気候変動で治水上の課題で生かせる治水対策を考える遺産でもあると考えます。是非活用をお願いします。また当地区は大変貌の途上ですが文化財保護室が集めた民具などの民俗関係の継承がますますあやしくなってきました。これもどこかで活用して頂けないでしょうか。</p> <p>市は都市計画の部局が上で文化財保護保全が見下されている様に感じています。埋蔵地域を無視無断で開発して庄内川を利用して栄えた川港を保全しなかったり吉根の古代を無視する開発が許せないです。</p>	今後の博物館の活動の中で、様々な資料を用いて災害史なども取り扱っていきたいと考えています。

27	<p>見世物小屋展示の廃止について 私が生まれたのは中川区ですが、神社のお祭りでこんな見世物小屋なんか見た事ありません。大垣の神社で「ろくろっ首」の小屋を今でもやっていますが、市内でこの小屋が普通に存在するのでしょうか。面積がムダだと感じます。見世物という語彙も差別用語感？</p>	<p>展示する見世物小屋は江戸時代の大須界隈の見世物興行をモデルにしたものです。江戸時代の見世物は、軽業や落とし噺、巧みな細工などの業や、珍しい動植物、科学技術などを見せる興行の総称で芝居と並ぶエンターテインメントでした。現在の科学館や動植物園、博物館につながる要素もあり、江戸時代、名古屋の見世物資料を所蔵する当館にとって重要な資料と考えています。差別的な表現としての誤解が生まれぬよう解説についても十分配慮して検討してまいります。</p>
28	<p>三英傑の軍団と出生地と思われる地図について 信長、秀吉の側近や活躍した武将の出生地の地図をお願いします。確定でない事は前提で柴田勝家が名東区（推定）、前田利家が中川区とわかると、ほとんどの出世大名が愛知内とわかります。遠方から来た人も転入して来た人も驚くと思います、意外に皆、知りません。これによって、愛知県はすごいなあと感じるはずです。</p>	<p>戦国武将についても、来場者のみなさまに興味を持っていただける展示を検討してまいります。</p>
29	<p>連歌や俳諧の展示について 熱田の連歌や鳴海の俳諧衆の展示をお願いします。</p>	<p>個別の展示内容については今後検討してまいります。</p>
30	<p>名古屋市職員の頑張った仕事の軌跡の紹介展示も一区画お願いします。 東館の北に富士山滑り台が作られるのは非常に嬉しいです。 このように戦後頑張った職員のおかげで美味しい水が飲めますし、交通局も百年になりました。また、緑の多い都市（半面草取りが大変）松原市長の御蔭です。職員の皆さんと一緒に名古屋を良くして行くにはこうした成果も展示する場面があって良いのではないのでしょうか。</p>	<p>個別の展示内容については今後検討してまいります。 広場についても今後設計を進める中で検討してまいります。</p>

31	<p>合戦をイメージしたような導入部の映像は不要</p> <p>デザイン事務所はこの映像で儲けを得ようとしています。金額の割に見学者の方は2回目以降つまらないものです。展示品なら入れ替え可能ですが映像にしてしまいますと容易に変えられません。</p>	<p>オープニング部分については、来場者の皆様に興味を持っていただけるように検討してまいります。</p>
32	<p>自動車産業以前は木工関係の産業が盛んだった。</p> <p>木材の自由化以前は、木工産業が盛んで、堀川に巨大な丸太が浮かべられていました。クラスに数人材木屋の子弟がいました。ベニア工場や額物屋、仏壇屋、桐たんす屋なども盛んでした。そうした産業の展示もお願いします。</p>	<p>個別の展示内容については今後検討してまいります。</p>
33	<p>熱田の展示の前に市内の荘園の解説、八条院領等の荘園の解説と、地図をお願いします。</p>	<p>個別の展示内容については今後検討してまいります。</p>
34	<p>源頼朝の生母が上西門院に仕えた由良御前と言う事を知らない来訪者が多いです。当時の院勢力と源氏の取った戦略、その後 源氏、足利一族の動きもお願いします。</p>	<p>個別の展示内容については今後検討してまいります。</p>
35	<p>他の県とつながりがある事をパネルにしてほしい。一例↓</p> <p>古代柏原市辺りは尾張部が居て 墨書土器が出土している。</p> <p>長野市水内郡にも尾張部がある。</p> <p>徳川光友が珂億上人に帰依した縁で柏原市の安福寺と縁がある事。</p> <p>お亀の方の石清水 狩尾社とも縁がある事。</p> <p>旧八日市（現東近江市）山之上は尾張藩の飛び地だった。</p> <p>味噌文化が武将の領国移動によって他県にも広まった。</p>	<p>個別の展示内容については今後検討してまいります。</p>

(2) 前庭、ワークショップ棟について

番号	質問・要望	回答
1	<p>個人的には幼少時より慣れ親しんだ日本庭園がなくなるのは非常に残念です。日本庭園の利用が少ないと感じられるのは会の中で意見も出ていましたが、日よけ、東屋が少なく、休憩スペースが少ないからです。東屋で休みたくても1組入っていると休めません。またこの辺りは風が非常に強く、風の通り道です。木々などでの木もれ日や風よけがあるとなお良いと思います。日よけ、風よけのある東屋やベンチなどが増えるとうれしいです。これまでの博物館らしい趣のある日本庭園にかわるものであれば、博物館らしい風格のあるデザインになるとうれしいです。</p>	<p>日頃から日本庭園をご利用いただき、ありがとうございます。 今回のリニューアルでは、博物館らしさを大切にしつつ、より多くの方に利用していただける前庭づくりを目指してまいります。</p>
2	<p>前庭の活用について、芸術系学生の展示コンテスト開催など若手の人が集い関心を持ってもらう企画を博物館主催で行ったらどうかと思いました。</p>	<p>今回のリニューアルではより多くの方に利用していただける前庭づくりを目指しています。いただいたご意見も参考に、いろいろな企画を行っていきたいと考えています。</p>
3	<p>展示空間兼アプローチ（キャノピー）について プランはとても良いと思います。情報発信という事で、今月の名古屋市内の祭情報など明示されていると山車の祭などに進んで見学に行けます。 また、今月の「なごや伝統食」としてアピールして欲しいです。周辺商店街で それに連携して〇〇寿司屋で「押し寿司」お値打ち価格とあれば寄ってみたいです。カフェでも持ち帰り「押し寿司」など販売して欲しいです。とくに「もろこ寿司」はやって欲しいです。 それから、博物館応援の寄付者の名</p>	<p>アプローチも含め情報発信に努めてまいります。また地域連携も進めてまいります。</p>

	盤を作ってその名盤を並べる場所を確保して欲しい。入場前に「ああ、皆さんの応援があるんだな」と思うと思わないのでは異なり、余裕のある方は寄付してみようかなと感じるかもしれません。	
4	防災訓練の場所や、災害時の拠点として利用できるようにしてほしい。	現在も博物館の駐車場で、地元の消防団の方が消防訓練等を行っています。 リニューアル後は、博物館の敷地を、地震時にまず避難してくる一時避難所として利用することや、その際一時的にワークショップ棟を利用できるようにすることを検討していきたいと考えています。

(3) 東館、東側敷地について

番号	質問・要望	回答
1	質疑の際に東館の高さを気にされている方がいらっしゃいました。回答がされていませんでした。 建物高さは近隣に居住する人にとっては大変気がかりだと思うので、回答をしたほうが良いと思います。	当日回答をしておらず申し訳ございませんでした。 東館の高さは約 16m です。
2	東館カフェの空間は、平日、小中学生の学校からの見学者がお弁当を広げてくつろげるレイアウトにする。 椅子などを設置せず、階段状の床をあらかじめ作り、そこに座ってお弁当昼食がとれる空間を取り入れる。季節が良ければ外の公園で昼食も良いでしょう。ですが雨天時や猛暑の時は室内が望ましいからです。	カフェについては今後設計を進める中で検討してまいります。 小中学校からの見学者が昼食をとる場所については別途検討してまいります。
3	東館の図書室について 東館北の公園面積を減らす事になるかもしれませんが、狭くても図書室をお願いします。	本館にライブラリースペースを設置する予定です。

	岐阜県立博物館には広い図書室があります。ここまで広くなくて結構ですので、名古屋市文化財課発行の報告書は全部揃え、博物館の紀要もそろえて欲しいです。	
4	駐車場の出入り口について教えてほしい。	駐車場の出入り口については、現時点では従来通り西側の環状線をメインの出入口とする予定です。ただし、観光バスなどどうしても西側から入ることのできない車につきましては、東側から出入りするという運用をする予定です。
5	駐輪場が少ないので増やしてほしい。	今回基本計画を策定する際に、前庭の表に駐輪場を増設することを考えました。足りるかどうかについても設計にあたりもう一度検討しながら、自転車でご来館される方にもご不便がないように整備をまいります。
6	広場の出入り口の柵などどうするか教えてほしい。	地域の方のご意見を伺いながら、検討してまいります。博物館の敷地が開いていることによって地域の方が不安になるようなことがないようにしていきたいと考えております。

(4) その他

番号	質問・要望	回答
1	名古屋市博物館が名古屋城博物館の下請機関化しないか不安である。蓬左文庫の徳川美術館の下請化の先例がある。名古屋市博物館の自らの存在理由を自覚した活動に期待する。	同じ市の施設として、下請機関という考えは持っておりません。それぞれの特性を活かし、連携しながら、よりよい施設を目指してまいります。
2	本日は色々の方々の意見が聞けて良かったです。多くの方々の意見を取り入れて名古屋市博物館が発展される様に良い再建工事を地域の人々と共にしてもらいたいです。名古屋だけでなく世界的に有名になるくらい	工事にあつたては、近隣住民の方のご理解を得ながら進めてまいります。

	になってほしい。工事にあたっては近所の声も聞きながら進めてもらいたいです。	
3	事業概要説明にもう少し時間を割いて頂きたかった。	ご期待に沿えず申し訳ございません。ご質問等あれば博物館総務課までお願いいたします。
4	最近名古屋市民になったが、市の歴史や文化を知ることができる博物館は大事だと思います。ぜひいい博物館にしてください。	今後ともより一層皆様にご利用していただける博物館を目指します。
5	広報・宣伝について 名古屋市HPのイベントカレンダーそのものを充実(例:探しやすい見やすく、名大や南山大のイベントも入れる、民間イベントも入れて代わりに民間に宣伝してもらおう)、博物館のイベントをもっと「あんまり興味ない」という人にも伝わる。	多くの皆様にご来館いただくために、今後は広報活動をより一層積極的に行ってまいります。
6	SNSの広報をもっと充実してほしい 博物館公式Twitterやfacebookでもタウンミーティングの宣伝がありません。博物館HPでもわかりませんでした。 若者やご家族向けに「イベントの事前宣伝」するために、検索にヒットしやすくするためのSNSとHPトップは強化をお願いします。	多くの皆様にご来館いただくために、今後は広報活動をより一層積極的に行ってまいります。
7	ここの市博物館らしさ、キャッチフレーズは必要と感じた。またパンフの表紙に載せる名物を決めた方が「これがあるところね」とわかりやすい。	多くの皆様にご来館いただくために、今後は広報活動をより一層積極的に行ってまいります。
8	博物館改修のタウンミーティングや市民の意見等は常にHPで一般市民が見られる状態に公表する。 ■子どもたちをはじめ、幅広い市民が主役となってともに学び、ともに未来を描く。 ■すべての人に開かれた新たな博物	多くの皆様にご来館いただくために、今後は広報活動をより一層積極的に行ってまいります。 魅力向上についても今後は博物館ホームページに特設ページを設置し、発信していく予定です。

	<p>館のあり方や役割・・</p> <p>上記の趣旨に従う為にも HP に逐一情報は公表すべきだと思います。</p> <p>博物館の現行 HP に特設ページを設置し、公開して頂きたいです。</p>	
9	<p>利用できる電子マネーの種類について</p> <p>グッズ販売やカフェ飲食で、aupay・paypay などなどの電子マネーを使えるようにしてほしいです。以前、書籍を買ったときはスマホ決済ができなかったので、ちょっと不便でした。今後も電子マネーがさらに普及するので、対応してほしいです。</p>	<p>リニューアルに当たっては電子マネー決済の導入についても検討してまいります。</p>
10	<p>災害時にも使い続けられるソーラーパネルの設置について</p> <p>博物館の本館・東館・ワークショップ棟の屋根、前庭や屋外通路の日よけ雨よけ東屋などに、ソーラーパネルを設置してほしい。</p> <p>災害時も稼働できるソーラーパネルがあれば、収蔵庫の温度管理や、被災者のスマホ充電に活用できます。過重制限など技術的に難しいかと思いますが、できるだけお願いしたいです。</p>	<p>ソーラーパネルの設置について検討してまいります。</p>
11	<p>名古屋市職員と名古屋市民がいっしょになって作り上げる。</p> <p>市職員と市民が敵対し合うのではなく、3人寄れば文殊の知恵で 想定予算 170 億円以上の価値ある改修博物館が完成したらいいなと思います。</p>	<p>市民の皆様とともに今後ともより一層皆様にご利用していただける博物館を目指します。</p>
12	<p>博物館職員の働き方改革も改修工事に必要ではないか</p> <p>小泉内閣以来、公務員の賃金が高すぎる、人員が多すぎる、という世論から</p> <p>国家公務員及び地方公務員タタキが始まりました。その結果、教職員のブ</p>	<p>今後ともより一層研究に励むとともに、皆様にご利用していただける博物館を目指します。</p>

ラック化を代表とした長時間労働や給与の引き下げ、会計年度任用職員、派遣社員が増大しました。

今、これらの問題はブーメランのように国民（市民）に跳ね返ってきています。市民も深く反省すべきです。ここらが底だと思います。

私のわずかな税金も、博物館職員の人件費の一部になっています。

ですから、学芸員の人が途中退官されると、市民の「知」のこれまでの投資がマイナスとなってしまいます。過度な公務員タタキから学んだ事は、人への投資を疎かにしてはならない。名古屋の今後の発展に禍根を残す事になります。

名古屋市博物館は市民の学びの窓口、情報発信の入口です。ですから、そこに勤務する学芸員の人には思いっきり良い環境で、長く研究に勤んでいただき その成果を市民にわかち与えて欲しいものです。尾張の歴史、文学、考古、民族なら名古屋市博物館に聞けば日本一詳しいよ、となるようになって欲しいものです。

新人の学芸員採用はなかなか見分けるのが難しいと思いますが、ただ偏差値の高い大学院卒だけでなく、できたら名古屋生まれ（愛知県内）で、名古屋を大事に思う人に勤務して欲しいです。そういう人を市民もしっかり応援する。その取り組みが必要と感じます。給与は議会承認など難しい問題がありますが、職場の環境はこうした改修工事時に重点的に行い、名古屋市博物館で勤務したいと思う意欲のある人を増やして頂きたいものです。